

企画展

「チベットの
ボン教の神がみ」

一四世紀以降に確立したボン教の図像学を通じてボン教の神がみを紹介し、チベット仏教とはやや異なる世界をご覧いただけます。

会期 七月二日(火)まで
会場 常設展示場内



会期 八月三日(木)～八月二四日(火)
会場 常設展示場内

「点字の考案者ルイ・ブライユ生誕二〇〇年記念」

六個の点の組み合わせで仮名・アルファベット・数字を書き表す点字。この究極の触る文字に込められたたたかな創造力とかなな発想力。本展では多様な展示物を通じて点字の歴史を紹介し、点字力の今日的意義を考えます。

「博学連携教員研修
ワークショップ
二〇〇九 in みんなく」

民博を利用した実践事例の紹介やワークショップをとおして、国際理解教育における博学連携の意義や可能性について考えます。
日時 八月四日(火) 一〇時～二〇時
分～一六時(受付一〇時～)
第一部
講演とミュージアムツアー

〈第一部〉
ワークショップ
① インターネットを用いた民博の事前学習「マルチメディア解説の作成を通して」
② 北西海岸先住民の木箱づくり
③ 仮面づくり
④ モノからひらめくモノコード
⑤ ひたひたのチヨレットから
⑥ 鯨のESD(持続的発展教育)料のふるさとからの便り
会場 セミナー室および常設展示場など
参加費 無料
参加申し込み方法
所属・参加者名・参加希望ワークショップを明記のうえ、左記までお申し込みください。
お問い合わせ 情報企画課 情報企画係
ファックス 〇六―六八七八―七五三三
E-mail hakugaku@idc.minpak.ac.jp

夏休みのづくり
ワークショップ
羊毛でつくるペーパーウェイト

羊毛と石を使ってペーパーウェイトをつくります。羊毛には水分、圧力、熱などを加えると、線維同士が絡み合って布状(フェルト化)になる特性があります。フェルト化を体験し、民博の常設展示場でフェルトによる展示品を探してみましよう。

みんなくミュージアム
パートナースによる
点字体験ワークショップ

「みんなくミュージアムパートナーズ」による点字体験ワークショップを開催します。しおり、名刺、カード、テープに、名前、好きな言葉などを点字で打ってみませんか。
日時 七月一日(土)
二時～一五時三〇分
会場 一階エントランスホール
参加費 無料

*詳細及びお申し込みについては、みんなくホームページをご覧ください。

刊行物紹介

■韓敏 著
『革命の実践と表象 現代中国への人類学的アプローチ』
風響社 定価：3,150円(税込)
革命は近代中国史を貫く核心的概念。17人の中国研究者が、服飾・映画・アート・革命表象、社会制度と文化儀礼の再構築、グローバル時代の革命記憶と構造転換、以上の3点から革命を追う初めての論集。



■庄司博史 P.バックハウス F.クルマス 編著
『日本の言語景観』
三元社 定価：2,205円(税込)
近年、鉄道駅の案内や街角の看板で、英語のほか、韓国語や中国語など外国語表示が目につくようになった。本書は、このような外国語を用いた表示による言語景観を社会の動きとのかかわりの中で考察する。



■国立民族学博物館 監修・編集
『旅 いろいろ地球人』
淡交社 定価：1,260円(税込)
「毎日新聞(大阪本社版)」に連載中の、国立民族学博物館(みんなく)研究者が執筆する「異文化を学ぶ」の3年間分(150篇)を単行本化。一定の地域でしかなかった「文化」や「民族」がひろがりを見せ、異文化とされていたものが身近になりつつある今、それを知り、触れることでグローバル化する日本をより理解し、どのように振舞えばよいかを考える書。



みんなくゼミナール

会場 国立民族学博物館 講堂
時間 13:30～15:00(13:00開場)
定員 450名(当日先着順)
参加費 無料

展示場をご覧になる方は、観覧料が必要です。

第374回 7月18日(土)
「グローバル化の中の漢族婚礼」
講師 韓敏(民族社会研究部准教授)

グローバル化によって世界が均一な文化に覆われているようでありながら、実際に人びとはローカルな環境のなかでグローバルな文化を再編成しつつ、自分らしさ、地域性、民族性、ルーツと伝統などを再認識し、再構築していこうとしています。多元的に展開された漢族の婚礼を通して、現代中国の庶民の生活と文化変容を考えてみます。



第375回 8月15日(土)
「音盤に聴く東アジア近代音楽史―日本コロムビア外地録音資料」
講師 福岡正太(文化資源研究センター准教授)

戦前、日本コロムビア社は、上海、台湾、朝鮮等に向けてレコードを制作販売していました。現在、民博はその原盤を所蔵しています。東アジア近代音楽史をその音溝に刻んだ外地録音資料の概要をご紹介します。

戦前、日本コロムビア社は、上海、台湾、朝鮮等に向けてレコードを制作販売していました。現在、民博はその原盤を所蔵しています。東アジア近代音楽史をその音溝に刻んだ外地録音資料の概要をご紹介します。



友の会

友の会講演会 会場●国立民族学博物館 第5セミナー室
定員●96名(当日先着順、会員証をご提示ください)

第374回 8月1日(土)
時間●14:00～15:30(13:30開場)
シリーズ「先住民のいま」②
ダレがダレを「先住民」とよぶ?
―東南アジアにて
講師 信田敏宏(研究戦略センター准教授)
古くから人の移動が激しかった東南アジアでは、「先住」か「後」からの民族かの区別は容易ではありません。近年、国家や国際団体によって急に「先住民」と呼ばれるようになった人びとと、そう呼ぶ側との意識のズレをお話します。

第375回 9月5日(土)
時間●14:00～15:30(13:30開場)
シリーズ「先住民のいま」③
共生の道をさぐる「先住民」
―オーストラリアにて
講師 松山利夫(民族文化研究部教授)
昨年、ラッド首相が過去の先住民政策について謝罪するなど、従来の施策が見直されつつあります。先住民であるなしに限らず多様な人びとが社会を構成することがさげられない現代。共生社会への道程として、オーストラリアの事例を読みときます。

東京講演会 7月25日(土)
アンデスの遺跡と人びとの暮らし
講師 加藤泰建(埼玉大学副学長)
民族学研修の旅で訪問するペルーに関連し、アンデスの遺跡と、それと隣り合わせに、今を生きる人びとの関わりについてお話いただきます。
時間●14:00～15:30(13:30開場)
会場●JICA地球ひろば
セミナールーム202

定員●40名(当日先着順、会員証をご提示ください)

国立民族学博物館 友の会
電話 06-6877-8893
ファックス 06-6878-3716
電話でのお問い合わせは
月曜～金曜日午前9時から17時まで
にお願いします。
http://www.senri-f.or.jp/
E-mail minpakutomo@senri-f.or.jp

ミュージアム・ショップ

ドイツの木の工房から
森の国とも呼ばれるドイツでは、木を使った職人の手仕事は今も息づいています。そんなドイツの森に囲まれた



レグラー工房：くるみ割り人形(8,400円)、クルーゲ工房：塩コショウ入れ(3,675円)、ゲルネグロース工房：くるみ細工(各2,100円)、飾り台10座(8,295円)

エルツ山地、ザイフェン村に点在する工房から愛らしい木工細工が届きました。年と共に木目の味わいが増す「くるみ割り人形」。殻の中に現地の風物がおさまった「くるみ細工」。幸運をもたらすといわれている「ブタの調味料入れ」等。工房ごとに、順次ミニコーナーでご紹介してまいります。

国立民族学博物館 ミュージアム・ショップ
電話 06-6876-3112
ファックス 06-6876-0875
水曜日定休
ウェブサイトもご覧ください。
オンラインショップ「World Wide Bazaar」
http://www.senri-f.or.jp/shop/
E-mail shop@senri-f.or.jp